

教科名	地歴公民科	科目名	世界史探究		
履修学年	2年 キャリアアップコース	学年	履修	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	単位数 2 単位
使用教科書 副教材等	詳説世界史 (山川出版社)				
学習の目標	世界の歴史を諸資料を活用しながら正確に伝えつつ、地理的条件とも紐づけながら生徒のイメージを膨らませる。その中で現代社会の諸課題と比較しながら考察させることにより、課題解決能力に結びつくような資質を養う。				

●どのような力を、どのレベルまで身につけるのか【目指す能力とその次元】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に対する関心と問題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。
評価方法	定期試験・課題提出・発問評価	定期試験・発問評価・グループワークにおける表現力評価	課題提出・授業態度・レポート提出・ディベート評価

●いつ、何を学ぶか【学習内容】

学期	学習内容	学習活動・ねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 世界史への旅立ち 東アジア世界 南アジア世界 イスラーム世界 	<ul style="list-style-type: none"> 人類史の大まかな枠組みを把握し、世界史学習への意欲を高めるとともに、初期の文明について理解を深める。 中国をはじめとした東アジア世界への関心を高め、皇帝政治について理解する。 南アジアや東南アジアにおいて各宗教が社会に及ぼした影響
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ世界 海域世界の成長とユーラシア 遊牧社会の膨張とユーラシア 地中海海域とユーラシア 	<ul style="list-style-type: none"> ギリシア・ローマの文明がヨーロッパ世界に与えた影響について把握し、その知識を身につける。 ムスリム商人、中国商人の活躍について概要を説明し、世界の興隆について意欲的に探究する。 イタリア商人による東方貿易とイスラーム文明のヨーロッパへの流入に関する資料を活用し、地中海社会について理解を深める。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 東アジア海域とユーラシア 大航海時代の世界 アジア諸帝国の政治と社会 ヨーロッパ主権国家体制の成立 	<ul style="list-style-type: none"> 元の東西交流と黄海や東シナ海における交易の活性化、琉球王国の交易活動に関する資料を活用し、東アジア海域の交流の様相について考察。 大航海時代のヨーロッパとアメリカ大陸との接觸・交流を理解し、アメリカ大陸の先住民社会の変貌について知る。 世界の一体化とそれに伴うアフリカ・アメリカの変容について関心を高め、多角的に考察する。